



# 東京都立晴海総合高等学校 キャリアカウンセラー通信

## 海風

No. 2  
2021年9月29日  
令和3年度 第2号

東京都立晴海総合高等学校 〒104-0053 東京都中央区晴海 1-2-1 電話：03-3531-5021  
<http://www.harumisogo-h.metro.tokyo.jp/site/zen/> 発行人：桜井 伸一

## 「選ぶ」ということ

初めに、私が尊敬する偉人の名言を紹介します。

### No.2の内容

- 1 選ぶということ
- 2 一人暮らしをして地方の国立大学に通うのと、自宅から通える私立大学に通うのでは、費用負担が少ないはどちらかという質問に対する解説

I am not what happened to me, I am what I choose to become. (Carl Gustav Jung)

私は、自分に日々起きた出来事によって創られた存在ではない、私は、自分自身の意志で選択して築きあげられたものである。〈カール・グスタフ・ユング〉

(精神科医、心理学者、ユング心理学創始者)

One's philosophy is not best expressed in words; it is expressed in the choices one makes ... and the choices we make are ultimately our responsibility.

(Eleanor Roosevelt)

人の生き方を一番よく表すのは、言葉ではありません。それは、その人の選択なのです。わたしたちの選択とは、つまるところ、わたしたちの責任なのです。〈エレノア・ルーズベルト〉(アメリカの第32代フランクリン・ルーズベルト大統領のファーストレディ、人権活動家、世界人権宣言起草者)

### 参考資料

「人生100年時代,厚生労働省」



みなさんにとっては、「自分で選ぶ」という言葉に、魅力的に感じたり肯定的な印象を受ける人が多いのではないのでしょうか。晴海総合について言えば、科目選択を通じて自分だけの学びを実現できること、「産業社会と人間」にはじまり系列での学びや「課題研究」を経験することで、進路の選択肢の広がりを実感できること、そしてこの仕組みをサポートする70人近くの各分野の専門家の先生に、様々な相談や指導をお願いしやすいことなどが、大きな魅力と感じている人が少なくないと思います。これら魅力も一言でいえば「自分で選べる」という言葉に集約されると思います。しかしながら同時に、選択したことに対しては自ら責任を負うことを求められます。

「個人と組織の可能性を拓ける  
パラレルキャリア(前編)|コクヨ  
のMANA-Biz」



前号でも少し紹介しましたが、「人生100年時代」という言葉が近年話題となっています。イギリスのリング・グラットン教授の研究(2007年に日本で生まれた子供の半数が107歳より長く生きると推計)を根拠に、100年という長い期間をより充実したものにするためには、幼児教育から小・中・高等学校教育、大学教育、更には社会人の学び直しに至るまで、生涯にわたる学習が重要であること、高齢者から若者まで全ての国民に活躍の場があり、全ての人々が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくること重要であるとの内容です。「人生100年時代」においては、「選ぶ」ことの重要度がさらに増すこと、そして、「パラレルキャリア」<sup>(1)</sup>の視点が求められるとされています。

まずは目の前の課題である、「科目選択」や「課題研究のテーマ決定」や「進路選択」になどの「選ぶ」ことに向き合う際に、今回の話を参考にしたいだけれると嬉しいです。

(1)パラレルキャリアとは「本業を持ちつつ第2の活動をする事」を意味する。

## 参考資料

「大学の学費目安を知ろう！一覧表で私立／国公立、理系／文系の学費を比較 | ごうぎんナビ」



## 一人暮らしをして地方の国公立大学に通うのと、自宅から通える私立大学に通うのでは、費用負担が少ないはどちらかという質問をよく受けます

下記の図は、公立（国立含む）と私立、大学の学部の種類ごとに学費を一覧表にしたものです。一人暮らしに必要な毎月の費用を仮に121,180円（大学生協調べ「第56回学生の消費生活に関する実態調査（2020年）」）として計算したとき、自宅から私学に通うよりも一人暮らしをして公立大学に行く方が、費用負担が少なく済むのは「医学部」だけだということが分かります。

具体的には、文系（文学部）で約253万円（公立大）に対し約360万円（私立大）で、その差は約107万円ですが、公立大の学費に一人暮らしの費用4年間を加えると、合計約833万円となり、私立大学へ自宅から通うよりも、訳473万円費用がかかることが分かります。また、理系（工学部）で約252万円（公立大）に対し約467万円（私立大）でその差は約215万円ですが、公立大の学費に一人暮らしの費用を4年間加えると、合計約832万円となり、私立大学へ自宅から通うよりも公立大の方が、約365万円費用がかかることが分かります。

しかしながら、自宅から私立大学へ通うことをお勧めしている訳ではありません。確かに有名私立大学を中心に研究設備や施設を整え充実した研究環境を有していることが少なくありませんが、公立大学のほうが全体的に施設や設備が整えられ研究環境が充実している傾向があります。理由は国や都道府県が多くの費用を大学に投じてきた経緯があるからです。また、教育内容や就職実績などさまざまな物差しから順位を検討した各種大学ランキングでは、上位が公立大学に偏る傾向が今も続いています。学びたいことがはっきりしていて、特に研究に力を入れた大学生活を送りたいと考えている人には、公立大学はお勧めできます。ただし、首都圏や大都市圏にある公立大学では入学難易度が極めて高く、合格するためには早い段階からの対策が必要です。

公立大（地域外）・私立大別、学部別の4～6年間の学費					単位：万円		
		A.入学金	B.授業料	C.実習費等	初年度納入金 A+B+C	D.在籍期間	学費総額 A+C+B×D
		公立大	文系（文学部）	35.5	53.5	4.0	93.0
理系（工学部）	35.3		52.9	5.1	93.3	4	252.0
医学部	55.5		54.1	13.6	123.2	6	393.7
芸術学部	39.3		53.7	5.8	98.8	4	259.9
私立大	文系（文学部）	23.5	77.1	28.6	129.2	4	360.5
	理系（工学部）	24.0	102.4	34.0	160.4	4	467.6
	医学部	131.2	269.0	328.9	729.1	6	2074.1
	芸術学部	24.4	99.1	38.0	161.5	4	458.8

出典）「29年度 学費平均額」（旺文社 教育情報センター）  
参照元の金額を万円単位で表示※千円未満切捨て

### ★キャリアカウンセラーへの相談をお待ちしています★

登校日の昼休みおよび放課後に、**2階ガイダンスセンター**でお待ちしています。  
不在の場合は、**5階商業科・情報科職員室**を尋ねてください。